

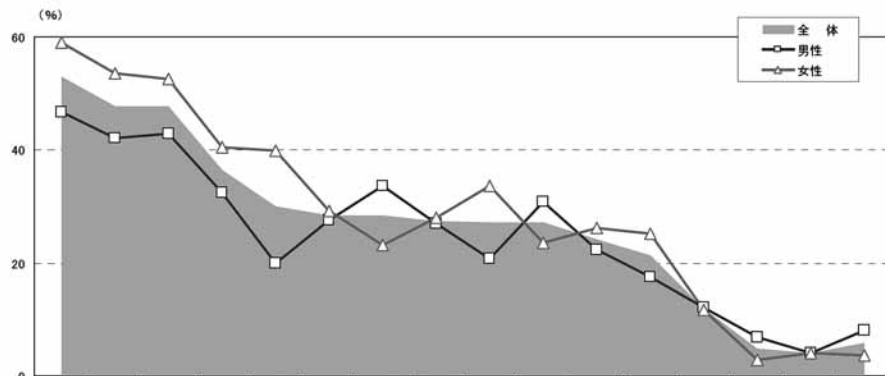
## 2 リタイア後の生活イメージ

### 私的な領域の充実に力点

これまでの人生の総括の上で、団塊世代は今後どのような生活を送ろうと考えているのだろうか。今後の人生の力点をみると、「円満で幸せな家庭を築きたい」(53%)、「本当の自分らしさが発揮できる生きがいを手に入れたい」(48%)、「平等で仲の良い夫婦関係を築きたい」(48%)など、やはり私的な領域を充実させたいという気持ちが上位に上がっている。また、これまでの人生に対する自己評価が低かった「平和で安心して暮らせる社会を作るのに貢献したい」(28%)、「地域の人々の交流や地域社会の発展に貢献したい」(27%)、「恵まれない人々への援助、ボランティア活動に力を入れたい」(24%)など公的な領域についてもやや関心が高まる傾向にある。

女性では多くの項目で男性よりもスコアが高く、家庭生活、夫婦生活以外にも「本当の自分らしさが発揮できる生きがいを手に入れたい」「一生付き合える友達、仲間を手に入れたい」にも関心が高い。一方、男性では「自分の個性や能力が発揮できる仕事に打ち込みたい」とリタイア後も仕事に力点をおきたいとする人が少なくない。

今後の人生の力点（複数回答）



		調査数	円満で幸せな家庭を築きたい	本当の自分らしさが発揮できる生きがいを手に入れたい	平等で仲のよい夫婦関係を築きたい	経済的に豊かな生活を手に入れたい	一生付き合える友達、仲間を手に入れたい	平和で安心して暮らせる社会を作るのに貢献したい	自分の個性や能力が発揮できる仕事に打ち込みたい	新しい価値観やライフスタイルを作りたい	親孝行をしたい	地域の人々の交流や地域社会の発展に貢献したい	恵まれない人々への援助、ボランティア活動に力を入れたい	子供を社会のために役に立てる人間に育て上げたい	地球環境や世界平和など国際的な問題の解決に尽力したい	勤め先企業の発展に貢献したい	日本経済を豊かに国づくりに貢献したい	あてはまらないものはない	無回答
全体		(n=1,500)	52.9	47.8	47.7	36.5	29.9	28.4	28.3	27.4	27.2	27.1	24.2	21.3	11.9	4.8	4.1	5.9	—
性別	男性	(n=750)	46.8	42.1	42.9	32.5	20.0	27.6	33.6	26.9	20.7	30.8	22.3	17.6	12.1	6.8	4.1	8.0	—
	女性	(n=750)	58.9	53.5	52.5	40.4	39.9	29.2	23.1	27.9	33.7	23.5	26.1	25.1	11.7	2.8	4.1	3.7	—
資産形成状況別	金融資産マイナス	(n=250)	52.4	47.2	49.2	40.0	30.4	32.0	32.8	28.8	25.2	29.2	27.6	21.2	14.0	7.2	5.6	5.6	—
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円未満	(n=430)	47.0	44.0	40.2	33.7	24.7	25.6	26.5	23.5	26.5	21.4	18.4	17.4	10.5	2.6	3.3	10.2	—
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円以上	(n=346)	54.3	48.6	48.3	36.7	30.9	29.5	33.2	24.6	24.6	28.3	22.8	22.5	11.6	5.5	4.0	3.5	—
	金融資産2500万円～5000万円未満	(n=299)	59.2	53.8	57.2	37.1	33.8	28.4	22.1	34.8	28.8	29.4	24.4	23.7	10.4	5.4	2.7	3.7	—
	金融資産5000万円以上	(n=175)	54.3	46.3	46.9	36.6	33.7	28.0	27.4	28.0	34.3	32.0	36.0	24.6	16.0	4.6	6.9	4.0	—

50.0 ……全体値より5ポイント以上高い  
50.0 ……全体値より5ポイント以上低い

(単位:%)

男性は仕事にこだわり、女性は街へ

具体的な暮らし方の希望では、「夫婦の絆、夫婦の時間を大切にしたい」(49%)、「映画や演劇など、都会の文化的な生活を楽しみたい」(40%)、「趣味などで同好の士との集いを楽しみたい」(36%)、「買い物や食べ歩きなど、街歩きを楽しみたい」(35%)など、夫婦で消費生活を楽しみたいとする意識が上位に挙がっている。

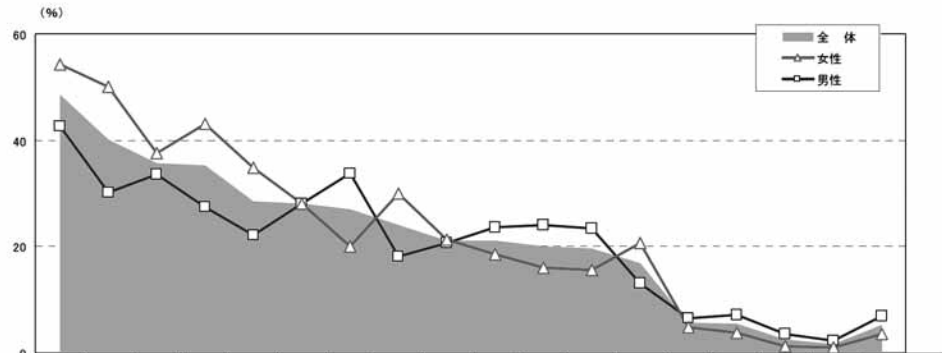
ただし、夫婦間の意識の違いは小さくない。女性では映画や演劇、買い物や食べ歩き、スポーツクラブ、学校や公開講座など、関心が幅広く外に向かっているのに対して、男性の場合には「報酬が少なくてもいいから、やりがいのある仕事をしていきたい」や「できるだけ今の仕事を続けたい」とあくまでも仕事にこだわる姿勢がみられる。

健康第一は共通でも男女には温度差も

「あなたの幸福な老後のために重要なこと」として今後の生活で重視することをたずねたところ、最も多かったのは、「健康」(91%)で、以下「貯金、財産、資産」(75%)、「趣味、娯楽」(65%)、「夫婦の絆」(64%)、「収入」(61%)などとなっている。何よりも健康第一で、堅実にお金を管理しながら、しかしその一方で夫婦の絆な強め、趣味などもシッカリと充実させたいと考えているようである。

ここでも男女によって若干の違いがある。男性に比べて女性では「子供との絆」「友人との交流」が10ポイント以上高く、「子供や孫とのつながり」も若干高くなっていて、夫婦以外の人間関係も大切にしていきたいと考えている。

具体的に希望する暮らし方（複数回答）

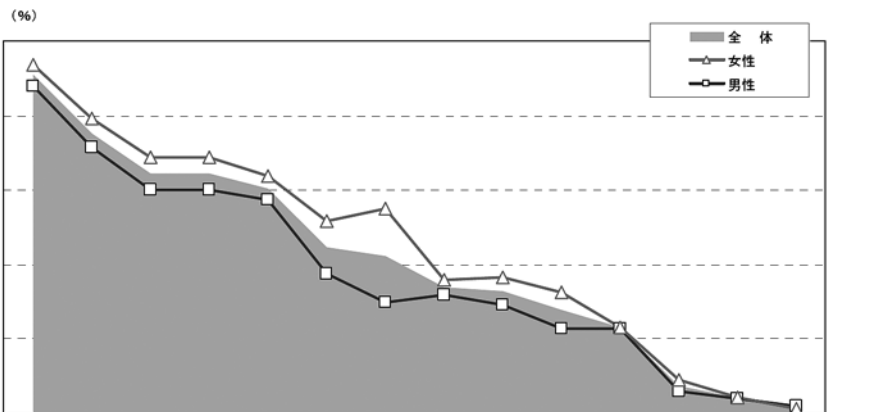


		調査数	夫婦の絆、夫婦の時間を大切にしたい	映画や演劇など、都会の文化的な生活をしたい	趣味など、同好の士の集いをしたい	買い物や歩きなど、街歩きを楽しみたい	子供や孫に囲まれて穏やかな老後生活を過ごしたい	地域活動・サークル活動・ボランティア等を通じて地域に貢献したい	報酬が少なくてもいいから、やりがいのある仕事をしたい	スポーツクラブに通って健康を維持したい	いつも新しい出会いや発見がある刺激的な生活をしたい	家庭菜園などで気軽に農業を楽しみたい	株などの投資活動をして資産を増やしたい	できるだけ今の仕事を続けたい	学校や公開講座などに通って勉強したい	より責任・報酬が大きな仕事をしたい	起業をしたい	政治活動に参加して、地方や国に貢献したい	本格的に農業をしたい	あてはまるものはない	無回答
全体	(n=1,500)	48.5	40.1	35.6	35.3	28.5	28.1	27.0	24.1	21.1	21.1	20.1	19.6	17.0	5.7	5.5	2.5	1.7	5.2	—	
性別	男性 (n=750)	42.7	30.3	33.6	27.5	22.1	28.1	33.9	18.1	20.8	23.6	24.0	23.5	13.2	6.5	7.1	3.6	2.4	6.9	—	
	女性 (n=750)	54.3	50.0	37.6	43.2	34.9	28.1	20.1	30.1	21.3	18.5	16.1	15.7	20.8	4.9	3.9	1.3	1.1	3.5	—	
資産形成状況別	金融資産マイナス (n=250)	47.6	33.6	32.8	30.0	34.0	27.2	29.6	20.4	22.0	25.2	10.4	23.6	14.4	8.8	10.4	3.6	1.2	4.4	—	
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円未満 (n=430)	40.2	37.2	32.6	32.1	24.2	24.0	29.8	19.5	14.9	21.6	16.0	15.3	12.6	4.7	3.7	2.6	3.0	10.0	—	
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円以上 (n=346)	49.7	40.2	37.3	36.1	30.3	28.3	27.2	25.7	21.4	17.1	18.2	28.0	17.9	8.1	5.2	3.2	2.0	2.6	—	
	金融資産2500万円～5000万円未満 (n=299)	57.2	44.8	37.5	40.8	31.4	30.1	20.4	28.1	24.1	22.4	27.4	14.0	18.7	3.7	5.4	1.0	0.7	2.3	—	
	金融資産5000万円以上 (n=175)	52.6	48.6	40.6	40.0	22.9	36.0	27.4	30.9	29.1	19.4	34.9	17.1	25.9	2.9	3.4	1.7	0.6	4.6	—	

50.0・・・全体値より5ポイント以上高い  
50.0・・・全体値より5ポイント以上低い

(単位:%)

今後の生活において重視すること（複数回答）



		調査数	健康	貯金、財産、資産	趣味、娯楽	夫婦の絆	収入	子供との絆	友人との交友	地元、地域の人々とのつながり	知識、教養	子供や孫とのつながり	仕事	社会的信用、名譽	宗教、信仰	あてはまるものはない	無回答
全体	(n=1,500)	90.9	75.3	64.5	64.4	60.5	44.6	42.4	33.9	32.9	27.7	23.0	7.5	4.2	1.7	—	
性別	男性 (n=750)	88.0	71.5	60.1	60.1	57.3	37.5	29.9	31.9	29.2	22.9	22.8	6.0	4.1	2.1	—	
	女性 (n=750)	93.7	79.1	68.9	68.7	63.6	51.7	54.9	36.0	36.5	32.4	23.2	8.9	4.3	1.2	—	
資産形成状況別	金融資産マイナス (n=250)	86.8	62.0	60.8	62.0	69.2	46.4	37.2	33.2	24.0	31.6	28.4	6.4	6.4	2.4	—	
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円未満 (n=430)	87.9	71.9	61.9	58.6	58.8	41.9	36.0	30.7	29.3	24.4	23.3	4.7	3.5	3.5	—	
	金融資産0～2500万円未満／収入400万円以上 (n=346)	91.6	72.0	65.0	67.6	67.9	47.7	50.6	36.4	33.2	29.2	28.0	8.7	3.8	0.3	—	
	金融資産2500万円～5000万円未満 (n=299)	96.3	90.0	69.6	69.6	53.2	44.8	45.8	38.5	38.5	27.8	16.1	9.0	2.7	0.3	—	
	金融資産5000万円以上 (n=175)	93.1	84.0	66.9	66.9	49.7	42.3	43.4	30.3	44.0	26.9	16.6	10.9	6.3	1.1	—	

50.0・・・全体値より5ポイント以上高い  
50.0・・・全体値より5ポイント以上低い

(単位:%)